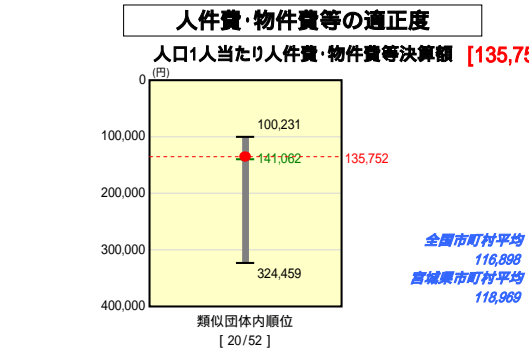
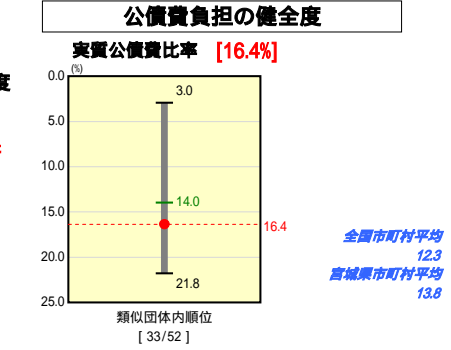
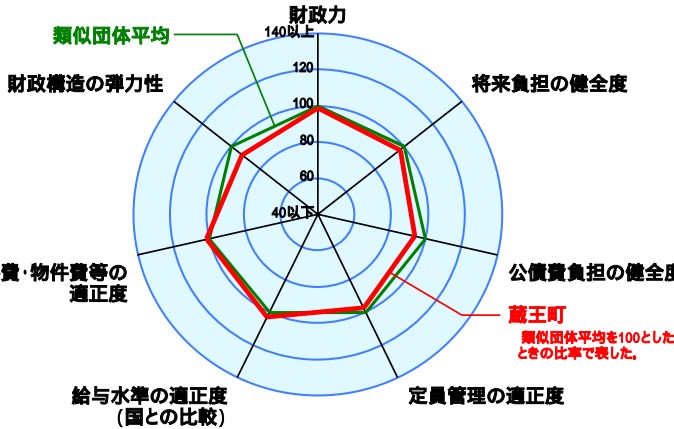
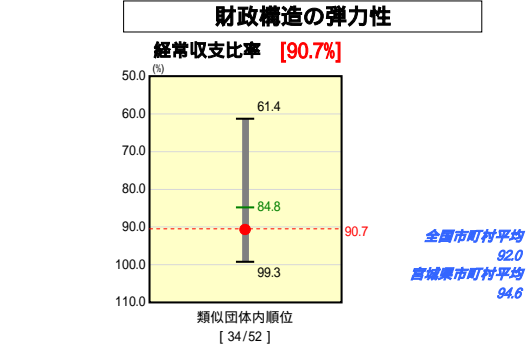
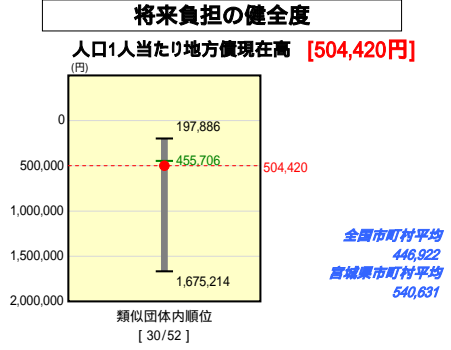
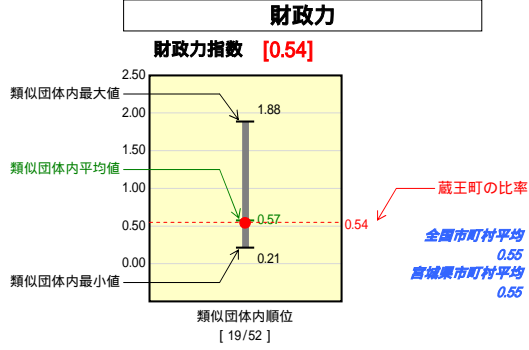


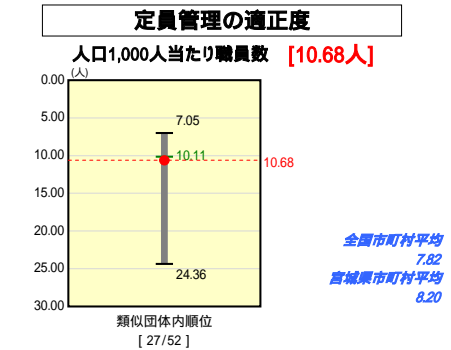
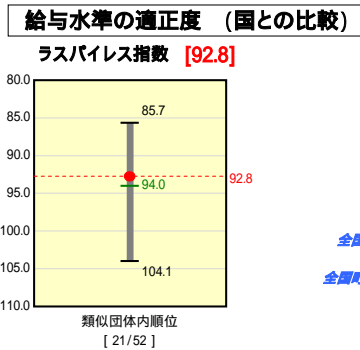
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

宮城県 蔵王町

人口	13,479	人(H20.3.31現在)
面積	152.85	km ²
歳入総額	4,977,944	千円
歳出総額	4,786,145	千円
実質収支	179,331	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
固定資産税における土地評価額の下落修正や、景気低迷による企業等の設備投資減少の影響などにより、町税全体としての税額は減少傾向にあり、また徴収率の低迷により徴収は厳しい状況である。町では徴収率向上を目指し、平成19年4月に徴収対策室を設置して体制の整備を図り、結果、徴収率は、前年度と比較して79.7%から81.1%と上昇した。今後も、滞納者の実態把握を徹底して行い、滞納額のさらなる圧縮に努める。

経常収支比率
歳入に占める経常的一般財源等が56百万円伸び(普通交付税の増額が主な要因)、前年度から1.5%ポイント上昇した。今後も、職員定員管理計画や行政改革推進計画に基づき、人件費の削減、各種団体等への補助費等の適正化をはじめとした事務事業の見直しを行い、類似団体平均値を目標に財政の弾力化を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
今年度も昨年度に引き続き歳出抑制の成果により、決算額は類似団体平均を下回った。特に今年度は職員の新陳代謝が図られ、人件費において6人減となった影響は大きく、また物件費等についても行政改革に伴う削減効果が大きく表れた。今後も、適正な職員定員管理を進めるとともに、維持補修事業等の計画的な事業執行に努めている。

人口1人当たり地方債現在高
公債費は今年度にピークを迎えた。普通建設事業の年次計画及び地方債発行の抑制(上限3億円)を実施し、また、今後予定している繰上償還などにより平成23年度までに公債費10%削減を図り、地方債現在高を引き下げるよう努める。

実質公債費比率
普通交付税に算入される公債費や事業費補正による需要額が伸びたことにより、昨年度から0.3%ポイント低下した。類似団体平均を上回っているが、地方債発行の抑制(上限3億円)を行い、実質公債費比率の抑制に努める。

ラスパイレス指数
給与改定による給与抑制並びに退職勧奨による高齢・高齢層の退職を促して来たことが、昨年と同じ水準を維持出来ている要因と思われるため、今後も抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数
昨年より0.06人増え、類似団体の平均も昨年より0.07人増えている結果だが、今後は、点に於ける幼児・児童施設等の統合や、業務委託をどう進めるかが、集中改革プラン通りの定員管理の重要な課題となってきている。